

阿南市文化財講座

第7回

蘭学者橋本宗吉の 一生と背景

元阿南市史編纂室室長
古川 良夫さん

生い立ち

橋本宗吉は、宝暦13年（1763）に、那賀郡荒田野村（阿南市新野町）に生まれた。幼いころに母と死に別れた宗吉は、父と共に大坂に移り住んだ。その後、宗吉の奇才を見込んだ土地の豪商で、自らも蘭学研究をしていた間、重富・蘭方医小石元俊らが学資を与え、江戸の芝蘭堂、大槻玄沢のもとで学ばせた。宗吉はわずか2カ月でオランダ語の単語、4万語を覚えたという。

大坂に戻った宗吉は、大坂蘭学の中心として活躍。医学に従事しながら、オランダ医書や天文暦学の翻訳に努め、自宅に絲漢堂という蘭学塾を開き、門弟の指導に当たった。晩年は娘夫婦を頼り、広島島の竹原に移住。竹原で3年過ごした後、宗吉は大坂に戻り、天保7年（1833）

6)、誰に看取られることなく73歳の生涯を終えた。

著書について

橋本宗吉は、その人生の中で、多くの著書を残した。医学関係書には、文化元年（1804）に出版された『蘭科内外三法方典六卷』、文政2年（1819）に出された『西洋医事集成宝函廿四卷』があり、そのほか、世界地図や天体星座図なども作成している。

特に才能を発揮したのは、エレキテル（電気）の研究でボイス等の著書を抄訳し、文化7年（1810）に書いた『エレキテル仮説』。同年（1811）の実験電気学に関する日本で初めての著書『阿蘭陀始制エレキテル究理原上下二巻』は、大きく評価された。



静電気の実験図（『エレキテル究理原』挿絵）

日本でエレキテルの研究といえば、まず頭に思い浮かぶのは平賀源内であろう。しかし、源内は電気を起こす機械の組み立てを行い、静電気のシヨック遊びをしたに過ぎない。日本で初めてエレキテルの研究を理論的かつ、体系的に行ったのは橋本宗吉である。彼はその功績で、「日本電気学の祖」と呼ばれるまでになった。

出身地について

ところで、橋本宗吉の出身地は、長らく大坂であると信じられてきた。彼の出身地に関する資料は少なく、幼い頃から大坂に住んでいたために、そう思われていたのである。宗吉の出身地が阿波国の那賀郡荒田野村に改められたのは、昭和9年（1934）のことで、大阪史談会報に掲載された記事がきっかけとなった。当時、新野町には堺 武雄という郷土史家がいしたが、堺氏の研究が基礎になって、橋本宗吉の出身地が明らかになったのである。

しかし、橋本宗吉が新野町出身であることを知る人は少ない。しかも、徳島県の、阿南市のどこを探しても、彼を顕彰するものはない。日本における電気学の祖とまで呼ばれている橋本宗吉。そんな彼の出身地、功績、名前に至るまで、多くの人々に知られていないのは寂しいことだ。



あなんカルチャー

15周年記念 邦楽への招待

～和楽器に親しもう～ 箏・尺八・太鼓
あななんと一緒に和楽器を弾こう！
フィナーレは、全員舞台上がって和楽器を楽しみましょう。

日時 3月1日(日) 14:00開演
場所 コスモホール(情報文化センター)
出演者 ゲスト：山上明山、内田道子、山上朋代
羽ノ浦小学校 箏クラブ
阿南中学校 箏曲部
新野中学校 箏曲部
混声合唱団「ベルゲンブリュエダー」
羽ノ浦和太鼓グループ「どんど鼓」 ほか

演奏曲 春の海、アナと雪の女王ほか
入場料 無料
※13:00から、研修室にて和楽器体験できます。
問い合わせは 情報文化センター(☎44-5000)へ

北條民雄文学特別展

日時 3月1日(日)～14日(土) 9:00～17:00
場所 文化会館2階 研修室
内容 北條民雄と川端康成との往復書簡による魂のやりとりをパネルで紹介します。
入場料 無料
問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ

劇団四季ファミリーミュージカル「ふたりのロッテ」

世界の名作小説から生まれた愛と感動のミュージカル。
日時 2月22日(日) 18:00開演(17:30開場)
場所 コスモホール(情報文化センター)
入場料 全席指定 S席 4,500円
A席・車いす席 4,000円
補助席 3,000円
※当日500円増し

※3歳未満の方は入場をご遠慮ください。
※無料託児あり。2月8日(日)までにお申し込みください。
問い合わせは 情報文化センター(☎44-5000)へ

明治大学マンドリン倶楽部演奏会

懐かしく親しみやすいマンドリンの演奏を存分にお楽しみください。
日時 3月5日(木) 18:30開演
場所 コスモホール(情報文化センター)
ゲスト 日野美歌
入場料 全席自由 2,500円
2枚セット4,500円
3枚セット6,000円
※当日500円増し



問い合わせは 情報文化センター(☎44-5000)へ

夢ホール ホワイエコンサート

日時 2月28日(出) 14:00～14:45
場所 夢ホール(文化会館)
出演者 皆谷尚美(歌・ピアノ)
曲目 祈り～song for you～、奇跡、阿南へ行こう ほか
入場料 500円(ワンドリンク付き) ※当日も同額
仲良しチケット(2人以上:1人につき400円)は、前売りのみの取扱い。
※未就学児は入場無料。
問い合わせは 文化会館(☎21-0808)へ



わくわく科学の広場 「プラコプターを作ろう」(無料)

子ども向けの簡単な工作で、プラスチックコップを使って、プロペラと発射台を作ります。
日時 2月11日(祝) 午前10時30分～正午、午後1時30分～3時の2回
参加方法 当日、開始時刻までにお越しください。予約は不要。

夜間天体観望会(有料・要申込)
日時 毎週土曜日の午後6時～、7時～、8時～の3回
参加料 大人300円、高校生250円、小中学生200円、幼児無料

デジタルプラネタリウム(無料)

日時 土・日・祝日の午後1時30分～3時頃の2回。3月1日(日)まで実施。
2月のテーマ
「冬の星座と宇宙望遠鏡」
冬の代表的な星座の紹介と、天体望遠鏡の変遷をまとめたお話です。

おもしろ科学実験(無料)

日時 土・日曜日の午前11時～、午後2時20分頃の2回
2月の予定
1日(日) フワフワ電気くらげを浮かべよう
7日(出) 風船でコインのサーカス
8日(日) 水のふしぎ
14日(出) ダイヤモンドダストと雪の結晶の観察
15日(日) 水蒸気かま鳴りの実験をしよう
21日(出) とべ！エアール
22日(日) ○○コロリン
28日(出) 空気をあたためると

問い合わせは 科学センター(☎42-1600)へ
2月の休館日
2日(月)、9日(月)、16日(月)、23日(月)

